

## 電波時計（デジタル目覚まし時計）取扱説明書

取扱説明書番号 D041-CXXZ

### ～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正
- 光発電と併用で電池長持ち
- カレンダー・温度・湿度表示

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

### 発売元 リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12  
http://www.rhythm.co.jp

CITIZEN はシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。


(Y0810)


## 安全にお使いいただくために(はじめにお読みください)


ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。


### ■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区別して説明しています。


 この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。


 この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。


 この表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。


### ■誤飲による事故防止について

 小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。


 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

### 液晶表示板について

 表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸でよく洗い流してください。口や目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。

### ■使用場所について

 下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下のところでは、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- 浴室など湿気が多いところ。
- ほこりが多く発生するところ。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

## 電池のご注意（電池の正しい使い方）

### 電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう


- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かないところに置く。

### 電池の種類について


- 本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- 一般に充電式乾電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。


### 取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。

-  ●電池に傷をつけたり、分解しない。 ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。 ●時計を使用しないときは電池を取り外す。 ●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。

### 液もれが起きてしまったとき

 電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。


 もれた液に直接触れないでください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

### 電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていただきますので、製品仕様より短い期間で電池の交換が必要なことがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置きを電池を使用した場合、保管期間や状態により、電池寿命が短くなる場合があります。

### 電池の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定にしたがってください。

 火に入れると破裂の原因となり危険です。

## 時計の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定にしたがってください。

## アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記事事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

### ●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

### ●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

### ●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。

**お問い合わせに際しては、製品番号（型番）「8RZ089」をお伝えください。**

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**

（フリーダイヤル）  
受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

## 電波時計について

### 電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

### 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。（http://jjy.nict.go.jp）

## 電源について（光発電と電池）

この時計は、電池と光発電を併用しています。明るいところでは光発電、暗いところでは電池により駆動します。

光発電を併用することにより、電池の寿命を長くしています。

※1日に200Lxの明るさで8時間光発電すると電池寿命が約1年延びます。

●光発電により電池に充電をしませんので、暗いところで表示が薄くなったり、消えてしまう場合は、電池の交換が必要です。

●光発電に使用しているソーラーパネルは、屋内用ですので、直射日光を浴びると劣化して発電効率が悪くなる場合があります。

## お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

## 静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押ししてください。

## おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃	表示の切り替え	12時間/24時間制表示切り替え時刻、日付表示位置切り替え
時間精度	液晶表示可読温度範囲0～40℃ 表示精度 標準電波受信直後 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30 秒 (常温中のクォーツ精度)	アラーム	アラーム精度 表示時刻に対して±0秒 アラーム音 電子音（鳴り方が変化） スヌーズ機能（止めてもまた鳴る） オートストップ（自動停止）
使用電池	リチウム電池 CR123A 2個	カレンダー	2008～2099年まで対応
光発電	アモルファスシリコンソーラーセル 屋内用	温度表示	表示範囲 -9.9～+50℃ 測定温度範囲での精度 ±2℃
電池寿命	光発電と電池併用で約6年 (200Lxで1日8時間光発電した場合) 電池のみで約5年 アラームを30秒/日、 照明を3秒/日 使用した場合	湿度表示	表示範囲 20～95% (温度5～50℃の範囲) 測定湿度範囲での精度 ±10%
標準電波	標準電波受信により自動時刻修正 受信回数 1日2～3回 福島局/九州局自動選択 電波受信機能ON/OFF切り替え	照明	ライトボタンを押すと約3秒液晶表示面を照明
			※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。 ※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。 ※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

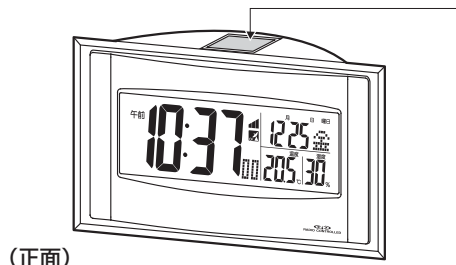
リチウム電池 2個 保証書 1枚 取扱説明書 本書

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

# 1 時刻を合わせる

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

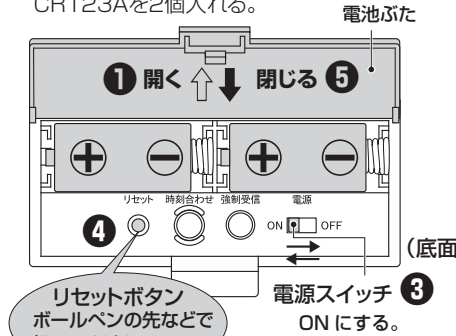


(正面)

- 液晶表示は見る角度によって、見えにくくなったり、ムラに見えることがあります。
- 透過式の液晶を使用していますので、液晶表示の背景が暗い場合や黒いものがあると見えにくくなります。

## 2 〈電池の入れ方〉

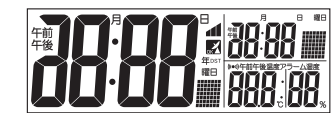
CR123Aを2個入れる。



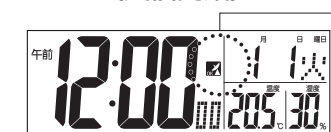
電源スイッチをONにしたときとリセットボタンを押したときに「ピ」と鳴ります。

## 【受信の流れと表示】

〈リセットボタンを押した直後〉



〈受信開始〉



※電池を入れた直後およびリセットボタンを押した直後は、2008年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。



(受信に成功したときの表示例) 受信マークは受信成功後、24~25時間点灯

(受信に失敗したときの表示例)

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、電波を受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

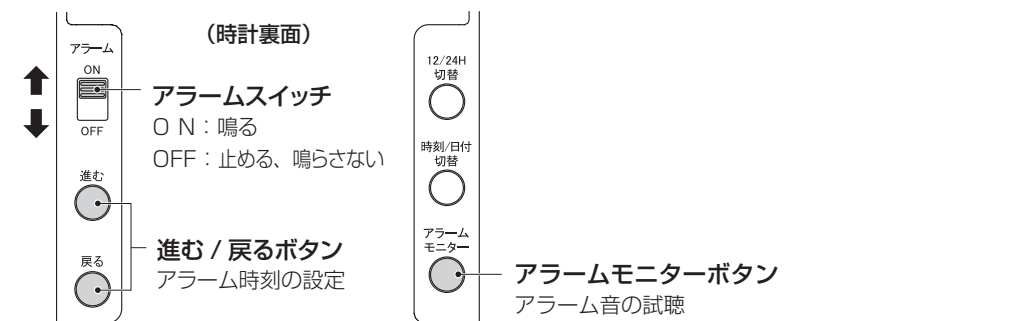
## 電波を受信しにくい環境

- つぎのような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

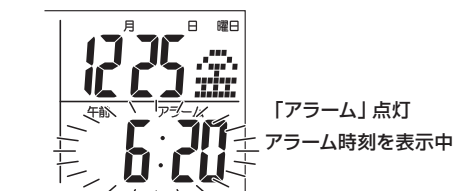
## 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でのご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてください。電波受信機能をONのまま使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

# 2 アラーム機能の使い方



## アラーム時刻の合わせ方



〈表示例 アラーム午前6時20分 アラームスイッチOFF〉

◆午前/午後への表示に注意  
表示されていない場合は24時間制の表示です。

## アラームのON/OFF設定



- 進むまたは戻るボタンを押す  
「アラーム」の文字が点灯し、アラーム時刻が点滅します。
- アラーム時刻を合わせる  
進むまたは戻るボタンを押してすぐに離すと、1分進んだり戻ったりします。押しつづげると早く変わります。
- アラーム時刻合わせを終わる  
およそ5秒間ボタン操作をしない。

アラームスイッチ ON : 設定時刻にアラームが鳴る  
▶アラームマーク(●)が点灯  
アラームスイッチがONのときは、アラーム時刻が表示されます。温度・湿度を確認するときは、アラームスイッチをOFFにしてください。

アラームスイッチ OFF : アラームを止める、鳴らさない  
▶アラームマークが消灯し、温度・湿度を表示。

## アラーム音の試聴.....(アラームモニターボタン)

アラームモニターボタンを押すとアラーム音が約2分間鳴ります。アラームが鳴っているときに再度アラームモニターボタンを押すと停止します。電波の受信中に押すと受信を中止します。

## アラームオートストップ機能.....(自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約2分間で終了します。

## スヌーズ機能.....(止めてもまた鳴る)

アラームが鳴っているときに、時計上部にあるスヌーズボタンを押すと、アラームマーク(●)が点滅し、約5分間アラームが停止し、また鳴りだします。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すとアラームは停止し、アラームマーク(●)は点灯表示になります。

## アラームご使用上の注意

アラームマーク(●)が点灯しているときは、アラームスイッチがOFFにされるまで毎日アラームが鳴ります。

# 3 電波を受信できない場合

- 朝までそのままにしておく  
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える / 受信をやり直す  
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面が電波送信所に向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。



## 受信できない場合は、下記の操作でご使用になれます。

### ■ 手動での時刻の合わせ方

- 時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。
- 西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。
  - ▶進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。押してすぐ離すと1つ単位に変わり、押し続けると連続して変わります。
  - ▶時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。
- 電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると時刻を修正します。
- ※電波受信機能のON/OFF操作参照
- 約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている時刻に設定して、手動時刻合わせを終了します。
- 電波を受信できない場合の時間精度は、平均月差±30秒になります。
- 時刻表示は12/24時間制がありますので、時刻を合わせるときに注意してください。
- 電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。
- アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても、切り替わりません。

## 標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

操作例. 2009年12月25日 午前10:37に合わせる



- 時刻合わせボタンを約2秒間押しつづげると、西暦年が点滅します。
- 進むまたは戻るボタンで「年」を「2009」に合わせ、時刻合わせボタンを押して確定します。



- 進むまたは戻るボタンで「月」を「12」に合わせ、時刻合わせボタンを押して確定します。



- 進むまたは戻るボタンで「日」を「25」に合わせ、時刻合わせボタンを押して確定します。



- 進むまたは戻るボタンで「時」を「10」に合わせ、時刻合わせボタンを押して確定します。



- 進むまたは戻るボタンで「分」を「37」に合わせます。このとき戻るまたは進むボタンを押すたびに秒は「00」秒に設定されます。時刻合わせボタンを押して設定を終わります。

## 電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF (無効にして手動で時刻を合わせる)  
リセットボタンをおよそ1秒間隔で3回押してください。  
▶押すタイミングは「ピ」と鳴ったらすぐに押す。  
○受信機能がOFFになるとリセットボタンを押しても「ピ」と鳴りません。  
○カレンダーおよび時刻は手動で合わせてください。  
○操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

受信機能 ON (有効にして受信を開始する)  
戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ピ」と鳴って受信を開始します。その後戻るボタンを離してください。  
○標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

## 強制受信とリセット操作

強制受信ボタン  
場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。  
つぎのようなときは受信を開始しません。  
●アラームが鳴っているときやスヌーズ中  
●手動でアラーム時刻または時刻を設定している最中

リセットボタン  
電池を入れた直後や静電気などにより誤動作したときに押します。  
リセット直後は、2008年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00に初期化されます。受信機能がONのときは受信を開始します。

## 電池の交換について 早めに交換して液もれを防ぎましょう

- 電池からの液もれにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防ぐために、つぎのことをお守りください。
- 液晶表示が薄くなったり、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる乾電池を混ぜて使用しない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。